

COMBI

コンビ

カルピコプリオールC X

カルピコプリオール

PM-549・PM-489・PM-439

取扱説明書

品質保証書付

ご使用の前に必ずこの取扱説明書をよくお読みの上正しくお使いください。また、本書は大切に保管してください。取りはずしてある部品は、本書をよく読んで取り付けてください。本品を他のお客様にお譲りになるときは、必ず本書もあわせてお渡してください。



イラストは  
カルピコ プリオール  
PM-439



安全基準A型  
(2ヵ月～2才まで)

目次	● ご使用の前に.....	1	● フロントカバーの使い方.....	9
	● 安全にお使いいただくために.....		● シートベルトの使い方(股ベルト・腰ベルトの調整) ...	9
	△ 警告.....	1	● シート及び衝撃吸収マットの取り扱い方.....	10
	△ 注意.....	3	● 日除けの使い方.....	10
	● 各部の名前.....	4	● 足のせの使い方.....	11
	● 手元ロックボタンについて.....	5	● ピクニックトレイの使い方.....	11
	● 開き方.....	5	● ウォームケットの使い方.....	11
	● ハンドルの切り替え方.....	6	● 折りたたみ方.....	12
	● アームレストカバーの使い方.....	6	● 保管の仕方.....	12
	● リクライニングの使い方.....	7	● 日常のお手入れ.....	13
	● キャスターの使い方.....	7	● 点検とアフターサービスについて.....	13
	● ストッパーの使い方.....	7	● 品質保証書.....	14
	● フロントガードの使い方.....	8	● SGマークの被害者救済制度.....	14
	● 買い物カゴの使い方.....	8	● オプション品(別売).....	15
	● 足カバーの使い方.....	9		

## ご使用の前に

- この製品は、一般家庭で乳幼児を乗せ、外気浴、日光浴、買い物などに使用するための一人乗り乳母車（ベビーカー）です。
- 対象年齢：生後2ヵ月以上満2才まで
- 望ましい連続使用時間：2時間以内
- 組み立てる前に、裏表紙「品質保証書」に次の項目を記入してください。
  - ロットNO.（背もたれ後側に貼ってあるシールに記載されています。）
  - お客様のお名前・ご住所・電話番号
  - 販売店名

## 安全にお使いいただくために

- 製品を使用する上でご理解いただきたい警告および注意事項を記載しています。製品を正しく安全にお使いいただき、危害や損害を未然に防止するためのものです。ここに記載した内容を無視した場合、お子さまおよび保護者の方が重大な傷害を被る恐れがあります。よくお読みの上、製品をご使用ください。
- 注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いを生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので必ず守ってください。

**警告** 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容が記載されています。

**注意** 誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容が記載されています。

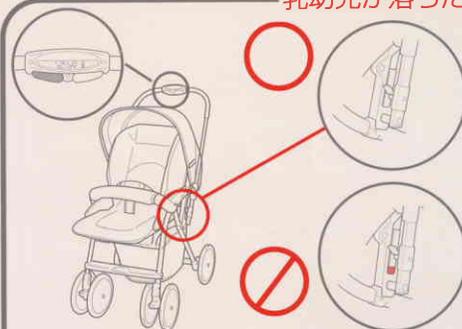
- お守りいただく内容の種類を次の表示で区分し説明しています。

⚠ 警告／注意を促す内容があることを告げるものです。

🚫 禁止の行為であることを告げるものです。

## 警告

### 乳幼児が落ちたりベビーカーが



●ロックがかかっている  
開閉ロックが下がって  
間に空きがない。

●ロックがかかっていない  
開閉ロックが上がって  
間に空きがある。

- 開閉構造やハンドルの切り替えのロックが確実にかかっていること（完全に開いた状態であるか）を確認してから使用してください。同時に二つのレバーを握らないでください。



- 階段・エスカレーター・段差等のあるところでは使用しないでください。また、砂場／砂浜／河原／ぬかるみ等の悪路では使用しないでください。

### ベビーカーが転倒して乳幼



- ベビーカーに同時に二人以上の乳幼児を乗せたり、乳幼児をシート以外のところに乗せないでください。



- ご使用中にハンドルによりかかったり、過度の荷重をかけないでください。

取り扱いを誤ると重大な事故につながる恐れがあります。

折りたたまれる恐れがあります。



- 乳幼児を乗せたままベビーカーを持ち上げないでください。手がすべったり、フロントガードがはずれたりする恐れがあります。



- 破損／異常が発生した場合は、必ず修理を受けてください。そのまま使用すると、重大な事故につながる恐れがあります。当社のお客様相談室にご連絡ください。

乳幼児が落ちる恐れがあります。



- 股ベルト・腰ベルトを必ず締めて使用してください。



- 乳幼児をベビーカーの中で立たせないでください。

児が落ちる恐れがあります。



- 乳幼児を乗せているとき、カゴ以外の所に荷物を乗せたり、つるしたりしないでください。

ベビーカーが動き出したり  
転倒する恐れがあります。



- 乳幼児や荷物を乗せたときには、ストッパーを過信しないでください。



- ベビーカーは空車であっても坂の途中／車道に近い歩道上など危険な場所に放置しないでください。



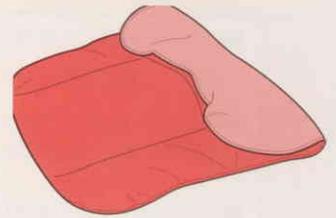
- 乳幼児を乗せたまま、ベビーカーから離れないでください。

**△ 注 意** 取り扱いを誤ると傷害を負ったり、ベビーカーが破損する恐れがあります。

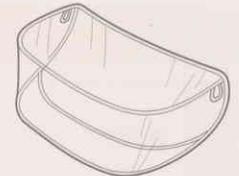
- シートを取りはずしたまま乳幼児を乗せないでください。すき間に手や足等をはさむ恐れがあります。
- 幼児、子供にベビーカーを操作させないでください。転倒や思わぬ事故につながります。
- ベビーカーの開閉やリクライニング操作時には他人に触れさせないでください。  
指をはさんだりする恐れがあります。
- 空車であってもフロントガードを持って持ち運ばないでください。ベビーカーが急に折りたたまれたり、フロントガードがはずれたり、手がすべて落下する恐れがあります。
- フロントガードの片側をはずした状態でフロントガードを引っぱって使用したりふりまわしたりしないでください。破損の恐れがあります。
- フロントガードには過度の力を加えないでください。また必要以上に広げたりしないでください。
- 乳幼児を乗せる以外の目的で使用しないでください。目的外の使用では破損等の恐れがあります。
- ベビーカーに大人が腰かけたり、過度な荷重を加えないでください。破損、故障の原因となります。
- ベビーカーを押すときは歩いてください。走るとキャスターの動きが悪くなったり、事故につながる恐れがあります。
- 買い物カゴには5kg以上の荷物を入れないでください。破損の原因となります。
- 踏切を渡るときはできるだけ線路に直角に進んでください。ななめに渡ると車輪をとられたり線路の溝に車輪がはさまる恐れがあります。
- 雪が積もっているところや凍結したところなど、すべりやすい路面では使用しないでください。  
ベビーカーだけでなく保護者も転倒する恐れがあります。
- 風の強いときには使用しないでください。勝手に動き出したり、転倒する恐れがあります。
- 雷のときは使用しないでください。落雷の恐れがあります。
- 火の近くや高温になる場所での放置、保管は避けてください。故障、変形の原因となります。
- 荷物等を重ねたり、圧力が加わるような状態で保管しないでください。故障や変形の原因となります。
- 危険ですからむやみに改造、分解をしないでください。
- ご使用前に、ネジやナットがゆるんでないかチェックしてください。ゆるみが発生した場合、ただちに使用を中止して必ず当社お客様相談室にご連絡ください。そのまま使用しますと、重大な事故につながる恐れがあります。
- お子さまがアームレストに手をかけたままハンドルを切り替えますと、手や指をはさむ恐れがあります。  
必ず手をかけていないことを確認してください。

# 各部の名前 (取りはずしてある部品は本文をよく読んで取り付けてください。)

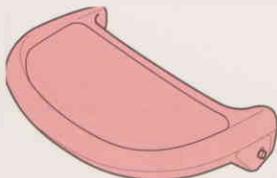
	梱包時 取りはずしてある部品	カルピコ プリオールCX		カルピコ プリオール
		PM-549	PM-489	PM-439
衝撃吸収マット		○	○	○
ピクニックトレイ	○	○	○	○
UVケア日除け	○	○	○	
肌にやさしい素材シート		○	○	
ガードカバー		○	○	
ウォームケット	○			
リバーシブル(両表面)シート		○		
フロントカバー(ビニル製)	○			○
足カバー(布製)	○	○	○	



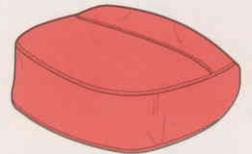
ウォームケット  
(PM-549のみ)



フロントカバー (PM-439)



ピクニックトレイ



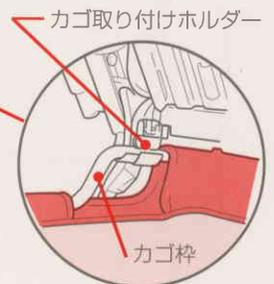
足カバー (PM-549/489)



衝撃吸収マット  
(シートの下)

リクライニングレバー  
カゴフックホルダー  
リクライニングパイプ  
背もたれ  
ロットNo.ステッカー  
(14ページの保証書にご記入ください)

カゴフック  
軸受けプレート  
ストッパー



## 手元ロックボタンについて



警告

- ロックを解除したまま使用しないでください。無意識にレバーを握ったときなど、急に折りたたまれたり、ハンドルが動いてしまう恐れがあります。
- 転倒の原因となりますから、同時に二つのレバーを握らないでください。



注意

- ロックがかかったままレバーを握らないでください。故障の原因となります。

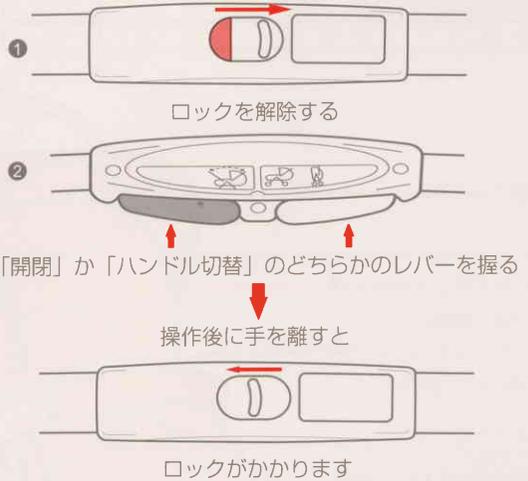
ベビーカーの「開閉」操作と「ハンドル切り替え」操作は、

- ①ハンドル中央部上面の「手元ロックボタン」をすらして、ロックを解除します。（「ロック解除」の赤いステッカーが表示されます。）
- ②レバーを握って操作します。

操作が終わり、レバーから手を離すと、自動的に「手元ロックボタン」が元の位置に戻り、ロックがかかります。

ロックがかかったままではレバーは握れません。

レバーを間違えて握ったときは、いったんレバーから手を離し、もう一度①からはじめてください。



## 開き方



警告

- 開閉ロックがかかっていないときは、そのまま使用しないでください。急に折りたたまれる恐れがあります。

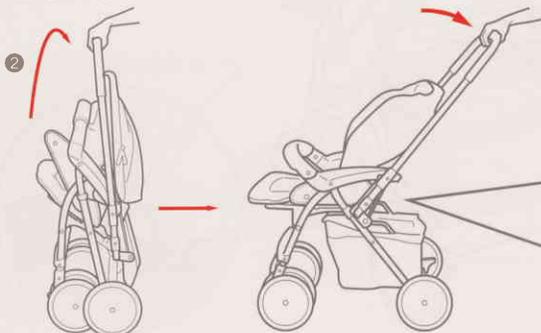


注意

- 開くときには他人に触らせないでください。手をはさむ恐れがあります。
- 子供に操作させないでください。転倒や思わぬ事故につながる恐れがあります。

- ①ベビーカーの後ろに立って、ハンドル中央部の手元ロックボタンを右にすらしめます。赤いステッカーが表示されロックが解除されます。

- ②白い開閉レバーを握りながら、ハンドルを持ち上げるようにするか、アームレストの先端を下に押し下げのようにすると開きます。



開き終わって開閉レバーから手を離した後、次の点を確認してください。

- 手元ロックボタンが元の位置にもどっている。
- 左右の開閉ロックが完全に下まで降りている。
- ハンドルを持ち上げたときに、アームジョイントと後フレームが離れない。



## ハンドルの切り替え方



注意

- 手元ロックボタンとハンドルロックがかかっていないときはそのまま使用しないでください。急にハンドルが切り替わる恐れがあります。
- お子さまがアームレストに手をかけたままハンドルを切り替えますと、手や指をはさむ恐れがあります。必ず手をかけていないことを確認してください。
- 危険ですからベビーカーを押しながら操作しないでください。

①ハンドル中央部の手元ロックボタンをずらしします。

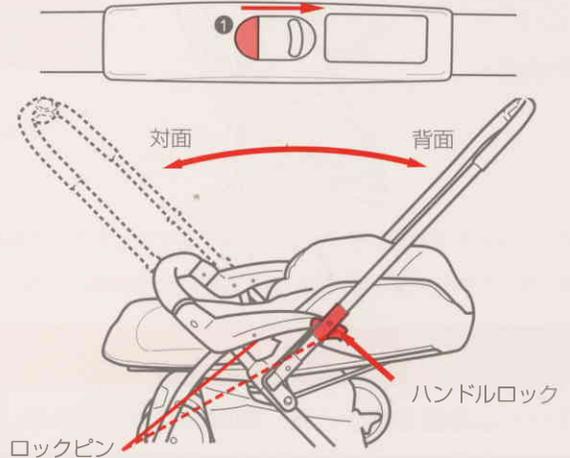
赤いステッカーが表示され、ロックが解除されます。

②グレーのハンドル切り替えレバーを握りながら、ハンドルの向きをかえます。

ハンドル切り替えレバーから手を離れた後、次の点を確認してください。

- 手元ロックボタンが元の位置にもどっている。
- 左右のハンドルロックがロックピンにかかっている。
- ハンドルを上下させても動かない。

ロックを解除する



## アームレストカバーの使い方



注意

- アームレストカバーを取りはずしたままお子さまを乗せないでください。すき間に手や足をはさむ恐れがあります。
- やぶれやほつれの発生したアームレストカバーはそのまま使用しないでください。中のウレタンをお子さまが飲み込む恐れがあります。

アームレストカバーは必ず取り付けて使用してください。

### 取りはずし方

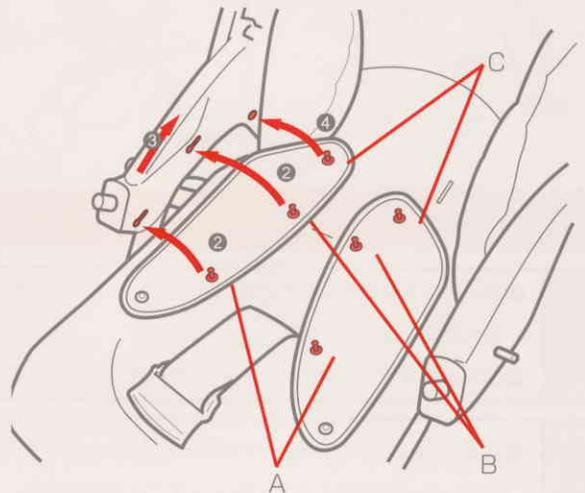
- ①Cの突起をはずします。
- ②アームレストカバーを前方にずらしします。
- ③A/B2つの「突起」をはずします。

### 取り付け方

背もたれをいちばん倒した角度にします。

- ①イラストを参考に、アームレストカバーの左右を確認します。
- ②A/B2つの「突起」をアームレスト前側の穴2ヶ所にそれぞれ差し込みます。
- ③アームレストカバーを後方にずらしします。
- ④Cの突起をアームレストにとめます。

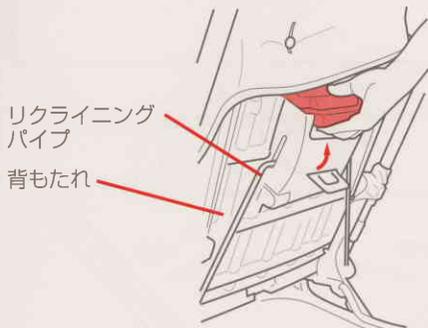
ゆっくり背もたれを上げ、背もたれの側面に引っかからないか確認してください。



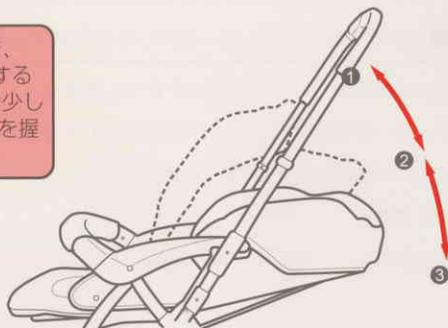
## リクライニングの使い方

- 注意**
- 危険ですからベビーカーを押しながら操作しないでください。
  - リクライニングパイプと背もたれの間に指をはさまないように十分ご注意ください。

リクライニングレバーを指で起こしながら、背もたれの角度を変えます。角度調節は3段階です。



お子さまを乗せたまま、リクライニング操作をするときには、背もたれを少し押し上げながらレバーを握ってください。



お子さまを乗せてリクライニングを操作をするときは、できるだけゆっくり静かに行ってください。

特に背もたれを倒すときには、急に角度が変わらないように十分ご注意ください。

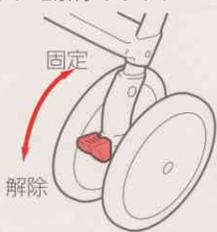
## キャスターの使い方

平たんな路面を押すとき、前輪の向きが変わり、方向転換がしやすくなります。

- 注意**
- キャスターを固定する位置を間違えて使用すると、押しづらだけでなく故障の原因となります。必ず正しい位置で固定してください。

### キャスターを使用する場合

キャスターロックレバーを下げ、ロックを解除します。



### キャスターを使用しない場合

坂道や凹凸のある路面を押すときは、キャスターを固定します。



左右のキャスターロックレバーを上げて固定します。固定する車輪位置は対面と背面では違います。ご注意ください。ベビーカーを折りたたむときは、左のイラストの位置で固定してください。



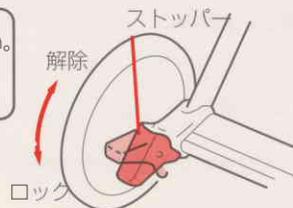
## ストッパーの使い方

- 警告**
- お子さまや荷物を乗せたときには、ストッパーを過信しないでください。ストッパーをかけた後も動き出したり、転倒する恐れがあります。
  - お子さまを乗せたままベビーカーから離れないでください。ベビーカーが動き出したり転倒する恐れがあります。

- 注意**
- 空車であってもベビーカーから離れるときは、必ず左右ともストッパーをかけてください。ストッパーが不完全ですと動き出すことがあります。

●左右の後輪の内側にあるストッパーを下げるとストッパーのロックがかかります。ベビーカーを軽く前後に動かしてストッパーが正しくかかっているか確認してください。

●解除するときはストッパーを上げてください。



## フロントガードの使い方

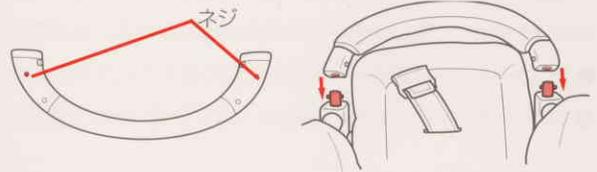
フロントガードを開くとお子さまの足が引っかからず、乗せ降ろしが楽にできます。

**警告** ●フロントガードに関係なくお子さまを乗せるときは必ずシートベルトを締めてください。フロントガードは抜け出しや立ち上がりを防ぐものではありません。

**注意** ●フロントガードが確実に取り付けられたか必ず確認してください。  
 ●お子さまの乗せ降ろし時以外は、必ずフロントガードは閉じてください。すき間に手を入れると危険です。また、破損の原因ともなります。  
 ●フロントガードが確実にロックされたか必ず確認してください。ロックが不完全ですと使用中に開いてしまう恐れがあります。  
 ●フロントガードをつかんで持ち運ぶことは、お子さまを乗せているときはもちろん、空車のときであっても避けてください。手がすべったり、フロントガードがはずれたりすると危険です。

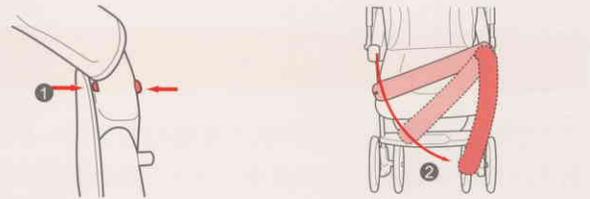
### フロントガードの取り付け方

●フロントガードは、ネジが見えるほうを下にしてアームレスト先端の突起に差し込みます。  
 確実に固定されたか引っぱって確認してください。



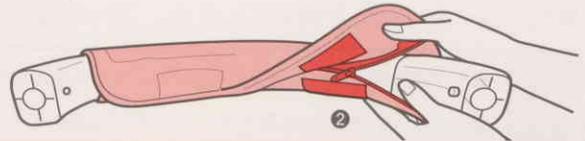
### フロントガードの取りはずし方

①フロントガード端の外側と内側2つのガードボタンを同時に押し、アームレストからフロントガードを引き抜きます。  
 ②フロントガードを持って、下に降ろします。



### ガードカバーの取り付け方 (PM-549/PM-489)

①正面から見て「COMBI」の文字が正しく見えるようにフロントガードとガードカバーをあわせませます。  
 ②裏側のファスナーをとめ、マジックテープをあわせませます。

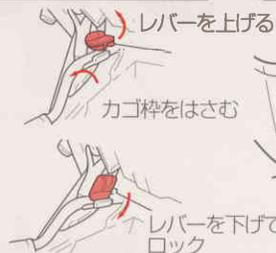


## 買い物カゴの使い方

**注意** ●5 kg以上の荷物は載せないでください。破損の原因となります。  
 ●角のとがったものは載せないでください。破れの原因となります。

### 取り付け方

座面下のカゴ取り付けホルダーのレバーを上げ、カゴ枠をはさみこんだ後、レバーを下げてロックします。カゴフックを軸受けプレートに差し込みます。(カゴフックのある側が後ろです。)



### 取りはずし方

取り付け方の逆の手順です。

荷物を入れて持ち運ぶときは、カゴ枠を持ってください。折りたたむときはカゴフックを背もたれのカゴフックホルダーにかけてください。



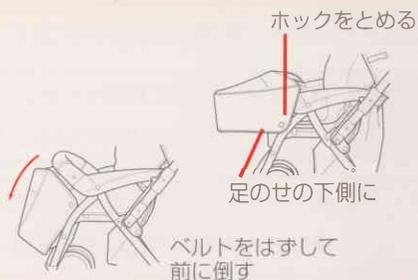
### 荷物について

できるだけカゴ底に均等に荷重が加わるようにのせてください。リクライニング操作に支障のない高さにしてください。ベビーカーの破損や荷物のつぶれの原因になりますから、折りたたむときには荷物を取り出すか、買い物カゴごと取りはずしてください。

## 足カバーの使い方 (PM-549/PM-489)

まず、足のせを引き出し、シートのホックをとめてください。

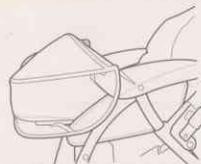
- 1 足カバー上面の裏側に付いている長いほうのベルトをフロントガードの下側から巻き付け、マジックテープでとめてください。
- 2 足カバー両側面のホックとアームレストカバーのホックをとめてください。  
足カバーの底面は使用時は常に足のせの下側になるようセットしてください。
- 乗せおろしときは上面のベルトをはずせばフロントガードを開くことができます。



## フロントカバーの使い方 (PM-439)

まず、足のせを引き出し、シートのホックをとめてください。

- 1 フロントガードを開き、フロントカバーのゴムベルトに通します。
- 2 フロントガードを閉じて、フロントカバーの上面をフロントガードにかぶせます。  
底面は使用時は常に足のせの下側になるようセットしてください。
- 材質の特性上フロントガードや日除けの色が移ることがあります。
- フロントカバーは足カバーのように前に倒すことはできません。
- フロントカバーの代わりに別売の「足カバーD-1型」を取り付けることもできます。



## シートベルトの使い方 (股ベルト・腰ベルトの調整)

ここでは、股ベルトと腰ベルトを合わせてシートベルトと呼びます。

お子さまを乗せるときは必ずシートベルトを締めてください。

また、シートベルトを締めていても、万一の抜け出し、立ち上がりに対しては十分注意してください。



警告

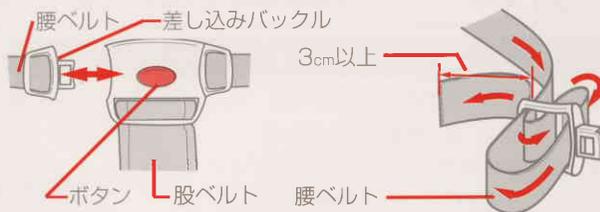
- お子さまを乗せるときは必ずシートベルトを締めてください。締めずに乗せるとお子さまが落ちる恐れがあります。
- できるだけたるみを取って、しっかりと締めてください。



注意

- ベビーカーを開くときは他の人に触らせないでください。手をはさむ原因となります。
- 子供にベビーカーを操作させないでください。転倒や思わぬ事故につながる恐れがあります。

- 図の●部のボタンを押すと左右の差し込みバックルがはずれます。シートベルトを締めるときは股ベルトのバックルに左右の差し込みバックルを確実に差し込んでください。  
また腰ベルトを引っばってはずれないか確認してください。



- 長さ調整のときに差し込みバックルを取りはずした場合は、右図のとおり確実に取り付けてください。



## シート及び衝撃吸収マットの取り扱い方



注意

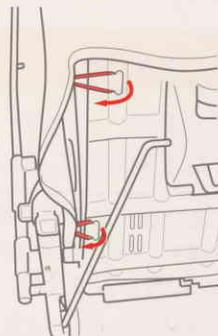
- シートを取りはずしたままお子さまを乗せないでください。すき間に手や足をはさむ恐れがあります。
- やぶれやほつれの発生したシートはそのまま使用しないでください。中のワタをお子さまが飲み込んだり、シート本来の機能が果たせなくなる恐れがあります。
- シートを取り付ける際に、ゴムベルト、ホック類を確実にセットしてください。取り付けが不完全ですとケガや破れ等の原因となります。

### シート及び衝撃吸収マットの取りはずし方

- 1 まず、足のせを使っているときには、シート前端のホックをはずしておきます。
- 2 背もたれ裏側のフックにかけてある左右2本のゴムベルトをはずします。(PM-549のリバーシブルシートは3本)
- 3 シートベルトをベルト通し穴から抜き取ればシートは取りはずせません。バックルやホックが通し穴に引っかかることがありますから、丁寧に扱ってください。
- 4 衝撃吸収マットは、シートベルトを抜き取り、左右1本のゴムベルトをはずします。

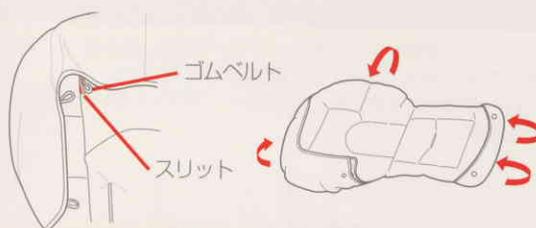
### シート及び衝撃吸収マットの取り付け方

- 1 背もたれをいちばん倒して、衝撃吸収マットをのせ、腰ベルトと股ベルトを通し、ゴムベルトをフックにかけます。
- 2 シートをのせ、腰ベルトと股ベルトを通します。
- 3 背もたれを起こし、ゴムベルトを裏側の両側面計4カ所のフックにかけます。
- 4 PM-549のリバーシブルシートを使用するときは、ゴムベルトも裏側に通し直し、計6カ所のベルトをかけます。  
シートは洗濯機で丸洗いができます。洗濯方法は13ページをご覧ください。  
衝撃吸収マットは取り付けなくてもご使用になれますが、シートは必ず取り付けでご使用ください。衝撃吸収マットは必ずシートの下に敷き、ゴムベルトをとめてください。



### PM-549のリバーシブルシートの取り付け方

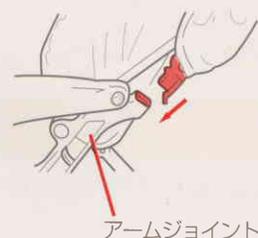
PM-549のシートは裏返して使うことができます。図のようにシート前端部と側面のカバーを裏返し、ゴムベルトをスリットから出します。



## 日除けの使い方

### 取り付け方

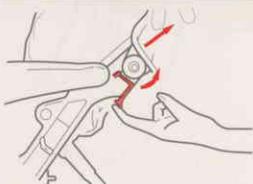
日除けの差し込み部分を、アームジョイント上部の穴に差し込みます。ツメがかかって固定されます。後ろのホック2個を背もたれ後部の生地のスリット(穴)を通してとめます。



アームジョイント

### 取りはずし方

後ろのホックをはずし、差し込み部分のツメを指ではずしながら、引き抜きます。



### 広げ方

前2本のステー(中骨)を持ってひろげ、左右の日除けレバーの関節部を押し下げロックします。



### たたみ方

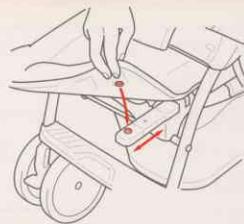
日除けレバーの関節部を下から押し上げてから、たたみます。次に、マジックテープをあわせします。



- 日除けが一番前までは倒れません。無理に倒すとはずれたり、破れたりする恐れがあります。

## 足のせの使い方

足のせを出していると、お子さまが寝たとき、楽な姿勢で眠れます。  
 使用するとき、シートを持ち上げ、座面にある足のせバーを前端で止まるまで引き出します。シートのをせ必ずフックをとめます。  
 使用しないときは、シートのフックをはずし、足のせバーを座面の中に押し込みます。



## ピクニックトレーの使い方

お出かけ先で、お子さまがベビーカーに乗ったまま、ピクニックランチなどの軽食をとることができます。また、おもちゃなどを乗せて遊んだりお出かけがもっと楽しくなります。

⚠  
警告

- トレーの上に乳幼児・子供・大人が乗ったり、3kg以上のものを乗せるなどの過度な力を加えないでください。転倒や思わぬ事故につながる恐れがあります。また、破損の原因になります。
- トレーをつかんで持ち運ぶことは、お子さまを乗せているときはもちろん、空車のときであっても避けてください。破損の原因になります。また、トレーがはずれたりすると危険です。

⚠  
注意

- 必ずトレーを確実に取り付けられた状態でご使用ください。取り付けが不完全ですと、お子さまがケガをする恐れがあります。また、トレーの破損の原因になります。
- ベビーカーでの移動の際には、トレーの上におもちゃや食べものなどのものを置かないでください。トレーに置いたものが転がったり、落ちたり、食べものなどをこぼす原因となります。

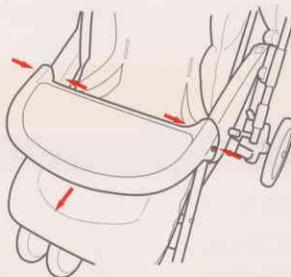
### 取り付け方

アームレスト前端の突起部に、トレーを差し込みます。確実に固定されたか軽く引っばって確認してください。  
 ※トレーをつけたままでも、足カバー・フロントカバーがご使用になれます。



### 取りはずし方

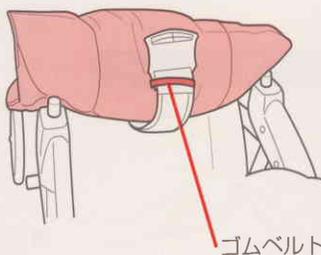
ピクニックトレー左右（内側/外側）計4カ所のボタンを同時に押しながら、トレーを引き抜いてください。トレーを取りはずした後は、フロントガードを必ず取り付けてください。  
 （8ページをご参照ください）



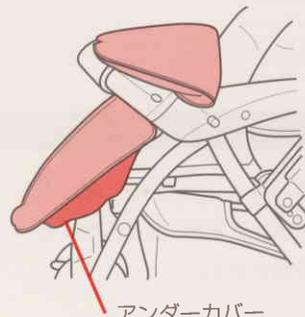
## ウォームケットの使い方 (PM-549)

冷えやすい足元から肩まであたたかくつつむので、寒い日のお出かけやベビーカーでのお昼寝に活躍します。

- 1 ゴムベルトにベビーカーの股ベルトを通します。
- 2 ウォームケット上部を折り返します。
- 3 足カバーを使用しないときはアンダーカバーにシート前端をくるみ、お子さまの足を入れるように使います。



ゴムベルト



アンダーカバー

## 折りたたみ方



注意

- 手元ロックボタンと開閉ロックがかかっていないときはそのまま持ち運ばないでください。急に開いてしまう恐れがあります。
- 引っかかりや、はさみ込み等を感じたら、いったん開いて原因を確認してください。無理に折りたたむと破損する恐れがあります。

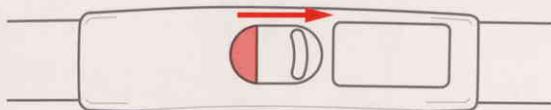
折りたたむ前に下記の操作を行ってください。

- ①ハンドルを背面位置にしてください。  
(6ページをご参照ください)
- ②キャスターを背面で使用する位置で固定してください。  
(7ページをご参照してください)
- ③背もたれを一番起こした位置にします。  
(7ページをご参照ください)
- ④買い物カゴのカゴフックを背もたれのカゴフックホルダーにかけます。
- ⑤日除けをたたみます。  
(10ページをご参照ください)
- ⑥シートベルトのバックルをとめてください。  
(9ページをご参照ください)
- ⑦フロントガードを取り付けてください。  
(8ページをご参照ください)

まず、ベビーカーの後ろに立って、ハンドル中央部の手元ロックボタンを右にずらします。赤いステッカーが表示されます。

次に白い開閉レバーを握り、ハンドルを前方向に軽く持ち上げるようにしながら、前輪を支点にして矢印の方向に力を加えると折りたためます。

ロックを解除する



スムーズに折りたためないときは、車体にシートやシートベルト等がはさみ込まれていることが考えられます。無理に力を加えず、いったん開き、はさみ込んでいる物はずしてください。開閉レバーから手を離れた後、手元ロックボタンが元の位置に戻っているか(開かない状態になっているか)をハンドルを持ち上げて確認してください。



## 保管のしかた



注意

- 火の近くや夏期の車内等高温になる場所での保管は避けてください。故障や変形の原因となります。
- 荷物を重ねたり、圧力が加わるような状態で保管しないでください。故障や変形の原因となります。
- 直射日光を避け、湿気が少なく雨やほこりのかからない場所に立てて保管してください。屋外で保管する場合はカバーをかけることをおすすめします。
- 車のトランクに入れて運ぶ場合は、買い物カゴを下にして寝かせてください。

## 日常のお手入れ

### 縫製品の洗濯について

- シートおよびウォームケット（PM-549のみ）の洗濯  
シートは洗濯機で丸洗いができますが、以下の点にご注意ください。取りはずし方は10ページをご覧ください。
  - 40℃以下の液温で、弱水流で洗ってください。
  - 通常の洗濯用洗剤が使用できますが、漂白剤や漂白剤入りの洗剤は使えません。使用する洗剤の注意書きもよくお読みください。
  - 長時間つけ置きせず、短時間で洗い上げてください。色落ちの原因となります。
  - 十分すすぎ、軽く脱水した後、形を整えて平干ししてください。
  - 乾燥機の使用やドライクリーニングはできません。
- 日除け、アームレストカバー、股ベルト、腰ベルト、足カバー（カルピコ プリオールCX DL-549/489のみ）の洗濯
  - 40℃以下の液温で、ブラシ又はスポンジにて軽く洗ってください。
  - 通常の洗濯用洗剤が使用できますが、漂白剤や漂白剤入りの洗剤は使えません。使用する洗剤の注意書きもよくお読みください。
  - よくすすいだ後、乾いた布で水分をふき取り、陰干ししてください。

※製品の特性上若干色あせすることがあります。

※洗濯の際は天然脂肪酸をベースとした蛍光剤・漂白剤・酸素などを含まない「コンビ おむつ・肌着洗い」をおすすめします。また、快適にお使いいただくために頻繁に洗濯することをおすすめします。

#### ●衝撃吸収マットの洗濯

衝撃吸収マットはシート洗濯のときなどに陰干しして乾燥させてください。

洗う必要があるときには、通常の洗濯用洗剤を使用してください。手で押し洗いをして、軽く脱水するか、乾いたタオル等で水分をとった後、日陰で平干しをしてください。

もみ洗いや、きつく絞ったりしないでください。また、乾燥機の使用やドライクリーニングは避けてください。

### 車体の清掃について



注意

- 車体の清掃には中性洗剤以外は使用しないでください。部品の変質、劣化の原因となります。

- 車輪やプラスチック部品及び金属部品の汚れは、水を含ませよくしぼった布でふき取ります。汚れがひどいときは薄めた中性洗剤を含んだ布でふいた後、水を含ませよくしぼった布で数回ふき取り、洗剤分が残らないようにします。

### 注油について

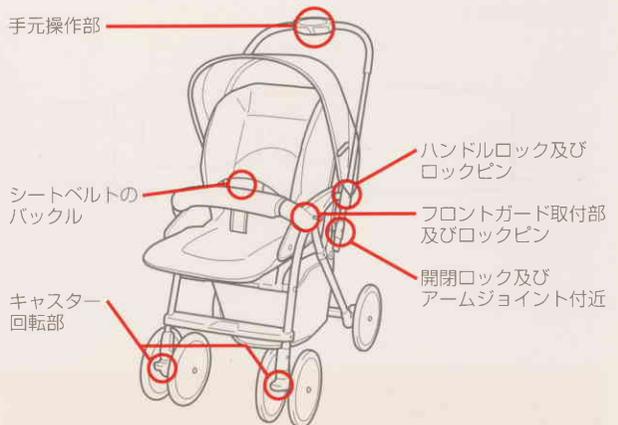


注意

- お子さまがなめる可能性の高いフロントガード、アームレスト等には油が付着しないようご注意ください。

きしみ音が発生したり、作動が鈍くなって注油が必要と思われる場合は、必ず潤滑油を少量お使いください。多すぎると、ほこりが付きやすく、かえて機能低下させます。注油箇所の泥や汚れはあらかじめよくふき取ってください。

なお、下のイラストの箇所には注油しないでください。作動不良を起こす原因となります。



## 点検とアフターサービスについて

- ご使用中に車体の破損、異常、ネジのゆるみやシート及びシートベルトに破れ・ほつれ等が発生した場合や、部品の交換または修理が必要な箇所を発見した場合、直ちに使用を中止して当社お客様相談室にご連絡ください。そのまま使用すると、重大な事故につながる恐れがあります。お問い合わせの際は、背もたれ後側に貼ってあるシールをご覧ください。機種名をお知らせください。  
お客様相談室 〒339 埼玉県岩槻市鉤上新田271 TEL. (048) 797-1000 FAX. (048) 798-6109  
(西日本担当) 〒542 大阪府大阪市中央区南船場2-1-10 TEL. (06) 263-4031 FAX. (06) 263-4533
- ネジ類のゆるみ、部品の欠損及び作動不良等の異常がないか適時点検してください。
- 危険ですからむやみに改造や分解はしないでください。
- お手入れの際に取りはずした商品は、本書をよく読み正しく取り付けてください。取り外したままですとお子さまが危険です。
- 本製品の修理／部品販売の際は、まったく同じ部品がない場合があり、色や仕様が若干異なることがありますので、あらかじめご了承ください。製品使用上は差しつかえありません。